

参考資料

⑤ ダブルロックジョイント®

ダブルロックジョイント

特長・工法別
商品早見表

架橋管
ポリブテン管

WJ型

WL型

WT型
WX型

WPJ型
WPT型

保温材
ダブルロックバルブ

ヘッダー

取付金具
変換アダプター

水栓ジョイント
関連

たて型水栓
ジョイント関連

配管部材

施工例

樹脂管接続手順

樹脂管の接続は最後までしっかり押し込んで下さい。不完全な接続は漏水の原因になります。

1		<p>必ずダブルロックジョイントパイプカッター (P124掲載) 又は市販のパイプカッターを使用し、パイプカッターの刃が管軸に対して直角になるように樹脂管を切断して下さい。 (2mm以上の斜め切断やのこ歯、カッターナイフでの切断は不可です。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div>
2		<p>継手に貼られたシールをはがし、インコアを取り出します。 (インコアは逆向きに入っています。)</p>
3		<p>シールでマーキング</p> <p>はがしたシールをインコア挿入部の長さに合わせ、樹脂管に貼付けます。 又は専用マーカ (P126掲載) でマーキングします。</p>
		<p>目印くんを使用してマーキング</p> <p>マーキングの位置が簡単に分かる目印くん (P126掲載) と専用マーカでマーキングをします。</p>
		<p>ダブルロックジョイントパイプカッターを使用してマーキング</p> <p>ダブルロックジョイントパイプカッター (P124掲載) と専用マーカでマーキングをします。</p> <div style="text-align: right;"> </div> <p>マーキングされているカポリパイプW・ポリブテン管を使用</p> <p>あらかじめ樹脂管にマーキングされているカポリパイプW (P36掲載) ・ポリブテン管 (P38掲載) を使用します。</p>
4		<p>インコアを樹脂管に差し込みます。(根元まで完全に押し込んで下さい。) 指で差し込みづらい場合は木ハンマーで圧入して下さい。 インコアは樹脂管の変形を矯正し、長期間シール性を維持する役割がありますので必ず差し込んで下さい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>挿入完了</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>挿入不足</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>斜め切断</p> </div> </div> <p style="font-size: small;">2mm以上の斜め切断はインコアのラインで判定できません。接続手順1の樹脂管切断からやり直して下さい。</p>
5		<p>継手内面・樹脂管外面の異物付着やキズなど異常のない事を確認し、継手に樹脂管をマーキングの位置までまっすぐに押し込みます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>挿入完了</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>挿入不足</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>斜め挿入</p> </div> </div>
6		<p>樹脂管を引張り、抜けないかを確認します。 樹脂管を少し回転させ継手となじませます。 挿入深さ確認のため、シールは貼付けたままにして下さい。</p>

せまい場所での樹脂管接続には、パイプクリッパーやパイプクリッパーⅡ (パイプ接続補助工具) が便利です。(P124掲載)

▲ 注意

- ・継手に挿入する樹脂管はまっすぐに矯正して下さい。曲がった状態では挿入が固くなり、挿入不足の原因となります。
- ・樹脂管は継手に対してまっすぐに挿入して下さい。斜め挿入では挿入が固くなり、挿入不足の原因となります。

参考資料